

社会福祉法人福生会 3カ年計画

(第二期3カ年計画 2012 4.1～2015 3.31 計画)

I. 作成にあたって

三喜苑の事業活動の拠点は三朝町である。しかし、三朝町の高齢化は進む中、人口及び高齢者数及び要介護認定者数の予想は、後述のごとく今後横ばい状態から減少方向に向かうと考えられる。その中で、三喜苑がその理念に基づいて今後も成長し続けるためには、新たな地域のニーズへの対応と、新規事業の提案と、地域貢献が必要と考える。また今年度、診療報酬と介護報酬の改定を迎えて、より一層介護保険関係施設のあり方が問われることとなった。その内容は、介護施設においては、個室化、看取り、認知症への対応、介護士の医療行為等により、重度利用者の対応を求められ、また在宅においては、リハビリ、認知症への対応、24時間のサービス提供等により、在宅生活の継続に向けた取り組みが求められるとともに、地域における介護・医療の連携と地域施設の連携、また重点的サービスの提供による経営効率の改善が求められている。また、社会福祉事業に取り組む法人の全てに適用される新会計基準も制定され、法人運営の事業全てが比較され、今後の報酬改定の参考とされるとともに、公表制度等により福祉事業の透明化が図られる事となった。

その中で三喜苑としても、新制度への早期適用と事業継続のため、全職員一体となった、新たな利用者の獲得を含めた営業活動の推進と、地域に信頼される事業活動の展開と、業務効率を上げるための個々の資質向上を含めた職員の能力向上と、福祉の心を実践できる職員の育成並びに次世代の職員育成、適材適所の職員配置と専門職員の獲得、今後を見据えた個室化施設の検討や新規事業の検討等が必要となる。

また保育事業においては、平成25年4月に三朝町との指定管理の契約更新を迎えることと、ふるさと健康村に4月に完成の「みささこども園(仮称)」を見据え、幼保一体型の施設への移行を踏まえた検討と課題の克服が必要となる。

以上を念頭において、三喜苑の苑是・理念と基本方針に基づき、この度、社会福祉法人福生会 3カ年計画を作成する。

尚、この中期計画の作成にあたっては、現行の介護保険制度の改正、介護報酬等の改正、現在の社会情勢、税と社会保障の一体改革等を勘案し、その都度整合性を計ることが必要となる。

平成24年3月

社会福祉法人福生会

施設長 村尾和広

福生会「3カ年計画」(平成24年度～平成26年度)

1. サービス目標 利用者・家族・地域に信頼されるサービスの質向上を目指す

重点目標	実施計画・方法	ゴール
① 尊厳あるケアの実践と誇りあるサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 接遇の強化、徹底(サービス向上委員会を中心として)目に見える接遇の活動と実践を進める ○ 専門職としての職員の能力向上と、適切な介護・看護・看護・保育の提供 ○ 個別ケア(利用者・園児)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の接遇力向上の評価を得る ○ 専門職の配置と、理論に基づく介護・看護・看護・保育の実践 ○ 利用者満足度の向上に向け目標を達成する
② 安全で快適なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ リスクマネジメントの徹底を図る (事故対策・防災委員会／感染症・食中毒対策委員会を中心として) ○ 交通事故、車両事故を防止する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ リスクに対する安全管理ができる 利用者者の事故 火災・地震・災害等 感染症・食中毒 } に関する目標を達成する ○ 交通事故・車両事故
③ 関係機関等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族・家族会・地域との連携強化を図る ○ 関係機関(国・県・医療機関・他事業所等)との連携強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 信頼される事業所となる為の目標を達成する

2. 能力開発目標 キャリアパス概要図に沿い、職員個々の資質向上及び能力向上を目指す

重点目標	実施計画・方法	ゴール
<p>①キャリアパス概要図に沿った人材の育成管理</p>	<p>○職員力(プロ力)の底上げ ・評価表の見直し ・面接力の向上 ・各専門職としての資格取得</p> <p>○理念・三つの喜びの心を実践できる職員の育成 ・怒(思いやり)の心の実践 ・おもてなしの心の実践</p> <p>○主体性を持ち、能力向上を目指す職員の育成 ・自分の頭で考え、自分の言葉で語れ、自ら行動できる職員の育成</p>	<p>○職員一人ひとりが自身のキャリアパスをイメージでき目標としていける</p> <p>○期待する職員像 評価表「態度考課」の向上</p> <p>○期待する職員像 評価表「能力成績考課」の向上</p>
<p>②職員教育体制(内外研修含む)の充実</p>	<p>○実践に繋げる研修の仕組みを構築する (研修委員会を中心として)</p> <p>○能力とキャリアに基づき、外部研修の斡旋と派遣</p> <p>○組織ごとの事例検討・技術研究の実践と開発</p>	<p>○職員の資質向上と能力向上を目指すと共に、“学び”(研修)を実践に活かすことができる</p> <p>○全国老協研究発表大会への出場</p>

3. 地域目標 地域に信頼され、貢献する事業活動を展開する

重点目標	実施計画・方法	ゴール
①市場調査と新規事業の取組み	○新規事業の検討	○新規事業の開設
②地域福祉の推進 公益的取組みの推進	<p>○広報活動の活発化を図る</p> <p>○ボランティア受入体制の充実と職員ボランティア活動の奨励</p> <p>○地域交流の充実 (地域貢献委員会を中心として)</p> <p>○各種イベント等の開催 ・論語塾の開催 ・「介護の日」の取組み ・法人事業開設20周年記念の取組み</p>	<p>○福祉会の福祉・活動について地域住民に周知する</p> <p>○地域への貢献、及び地域との交流を深める</p>

4. 業務目標 制度への適用と安定的事業継続を目指す

重点目標	実施計画・方法	ゴール
<p>① 職員満足の追求 ～職員が誇りとやりがい、そして希望を持って働き続けることのできる職場づくりを目指す～</p>	<p>○「職員満足度アンケート」の実施及び改善に向けての取組み (運営会議・幹部会を中心として)</p> <p>○ 職員の衛生管理についての取組み (衛生委員会を中心として)</p>	<p>○ 職員満足度の向上を図る ・「職員満足度アンケート」取り組み目標の達成 ・離職者を防止する</p> <p>○ 病気・労災等を防止する</p>
<p>② 業務・経営の効率化と計画的な資金運用</p>	<p>○ 収支バランスのとれた経営を目指す ・制度改正等の情報収集と早期適用 ・新たな利用者の獲得</p> <p>○ 業務効率化の取組み</p> <p>○ 長期借入金 の 早期返済</p>	<p>○ 安定的な事業継続ができる</p> <p>○ ムダを省き、業務内容を充実させる</p>
<p>③ 専門職員の獲得</p>	<p>○ 新卒者等の採用戦略を持つ ○ 専門職員の採用</p>	<p>○ 新規職員、専門職員の獲得により安定的な経営ができる</p>